

更別農業高等学校が**パテントコンテスト優秀賞**を受賞！

おめでとうございます！

応募645件のうち30件に選出！（文科省・特許庁・日本弁理士会・INPIT 主催）

～受賞へのキセキ～

★令和5年度11月13日～14日 農業科、生活科学科3年 32名が**教育支援事業を受講**！

★**教育支援事業（地域活用型教育支援事業）**とは…

道内の商品開発や販売実習等に積極的に取り組んでいる専門高校生を対象として、弁理士や地元の知財を活用している企業から知財の知識及びその重要性について学ぶ講義を実施。（日本弁理士会北海道会、発明協会、北海道経済産業局連携）

座学

- ・知的財産制度についての基礎
- ・知識や活用事例について紹介



ワークショップ

- ・J-platpatの操作方法
- ・意匠や商標などの願書の書き方等



中小企業者の講話

- ・地元の中小企業者からの知財の活用に関する講話



質問・意見交換

- ・知財に関する質問や意見交換



～講義終了後のキセキ～

★知財授業を機に「生徒の目がキラキラ！」担当教諭が「生徒に特許を取らせたい！」と熱望！

★当室で「**知財力開発校支援事業※1**」と「**パテントコンテスト/デザインパテントコンテスト※2**」をご案内！

→いずれも応募。知財力開発校支援事業に採択され、パテントコンテストは入賞！！

※ 1「知財力開発校支援事業」とは・・・

高校等での知財学習の取組を、活動経費とノウハウの両面で支援する事業。（年間最大50万円まで支援）

⇒**更別農高**では弁理士の講師の旅費・謝金、発明体験ワークショップ（身のまわりの困りごとや不便に対する解決策を「アイデア」として形にするワークショップ）への参加旅費に使用。

※ 2「パテントコンテスト/デザインパテントコンテスト」とは・・・

文科省・特許庁・日本弁理士会・INPIT主催で、高校生等の皆さんが、自ら考え出した発明を応募。優れたものは優秀賞（出願支援対象）として表彰し、特許権の取得までの手続を実体験しながら、特許庁への出願も支援。

⇒**更別農高**では「濃厚酢の製造方法」の特許を応募。



各賞 受賞のキセキ ～知財講義で生徒の意識の高まり～

★令和6年4月下旬、東京ビックサイトで行われた「漬物グランプリ」で全校75校のうち準グランプリを受賞！

出品名：「**更別村原産金時豆酢を使った白菜とスモモの甘酢漬け**」

※パテントコンテストに応募した特許「濃厚酢の製造方法」を一部参考にし製造

先生の声：たくさんの審査員の前で堂々と発表する姿に感動した。知財の講義で生徒の意識も高まり、さらに発展させていきたい。

先生の声：規格外金時豆、白菜の有効活用に取り組んだ活動が評価され嬉しい。更別農業高校生徒全員の自信に繋がった。

生徒の声：いずれ商品化して更別農業高校の名物となり、ふるさと納税の返礼品に使って欲しい。

生徒の声：青天の霹靂の心境です。過去の先輩から研究、試作を続けてきたものが評価され嬉しい。

★令和6年12月上旬、「**令和6年度パテントコンテスト**」で**優秀賞**を受賞！

（文科省・特許庁・日本弁理士会・INPIT 主催 645件のうち30件に選出！）

先生の声：応募総数も多く、大学生、工業高等専門学校の中から入賞でき感無量です。

先生の声：知財力開発校支援事業で、ご支援頂いたことが入賞に繋がりました。感謝いたします。

生徒の声：まさか入賞できるとは。夏休み中も出願書類の作成を頑張って取り組んだ苦勞が報われて嬉しい。

生徒の声：特許出願をできることが嬉しい。自分たちの研究内容が認めら頑張ってきたことが報われて良かった。



知財でつながる更別農業高校の快進撃

「高校生MIRAI万博」で世界に向けて発信

令和7年7月 万博EXPOホール。三菱みらい育成財団 高校生MIRAI万博で、全国364校のエントリーの中から**最優秀賞6チーム**に選ばれ登壇。

規格外品の野菜の活用と、先輩たちから受け継いだ「金時豆酢」を応用し、地元企業の協力も得ながら**高校生がオール更別**で取り組んだ「**白菜の甘酢漬**」。

単なる加工品のレシピ作りだけではなく、地球環境も踏まえたビジネスとして成り立つのか、その研究成果を世界に向けて発表した。

この時考案した酢の製造方法は、令和6年度**パテントコンテスト**で優秀賞を受賞しており、「**濃厚酢の製造方法**」とし、弁理士のアドバイスを受け生徒自身で手続きを行い**特許**に出願し、2025年12月に登録された。今後の活動として、特許を取得したのち商品化して世の中に広めたいと語った。



「全道意見発表大会」で語った夢

令和7年8月 日本学校農業クラブ北海道連盟 第45回全道意見発表大会で、東北海道代表として**増地 早佳江さん**（3年生）が「未利用資源の可能性を求めて」を発表。

他人事のように聞いていた**知財学習**。数ヶ月後、まさか自分が知的財産に係わるとは…

未利用資源を有効に活用し、バルサミコ酢風調味料の開発。それが、令和6年度のパテントコンテストで優秀賞を受賞。一気に特許出願という流れに。

そして、この体験を通して芽生えた**大きな夢!!**

この経験が、高校生が開発した技術であっても、知的財産として保護されることが理解できた瞬間であり、それと同時に芽生えた「夢」…



私も弁理士となって企業や高校生が開発した技術を守っていきたい

